

## 「温暖化対策技術プロジェクトチーム」について

平成 14 年 11 月 20 日

1. 趣 旨

重点分野推進戦略専門調査会に、有識者からなる温暖化対策技術プロジェクトチームを設け、実用化を視野に入れつつ、温室効果ガス削減対策技術に関する研究開発戦略について、集中的に調査・検討を行う。

2. 調査・検討とそのとりまとめ方針

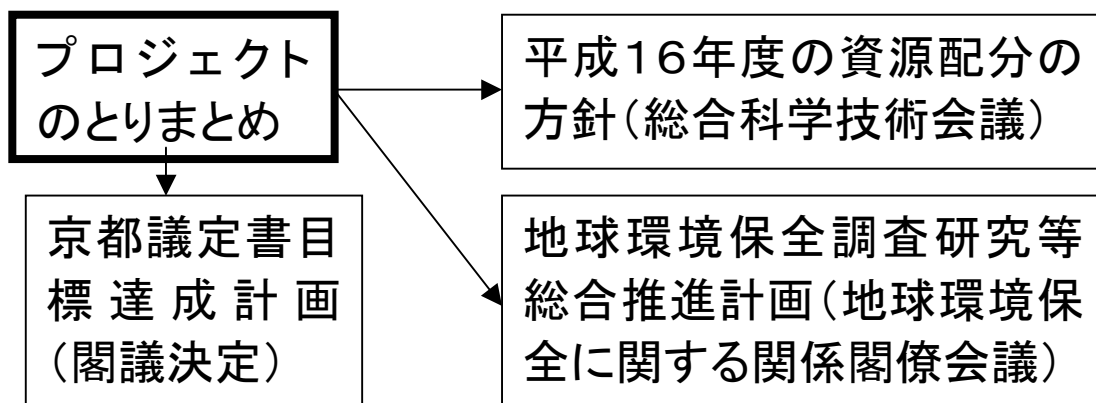
京都議定書における温室効果ガス削減目標の達成に資するため、

- 地球温暖化対策推進大綱に記載されている「省エネルギー技術」、「新エネルギー技術」及び「革新的環境・エネルギー技術」の具体的実現に向けて、研究内容、スケジュール等の進め方について調査・検討を行い、とりまとめる。
- 上記技術のみならず、第一約束期間(2008年～ 2012年)以降も見据えた、更なる省エネルギーや新エネルギーなどの具体的技術開発テーマをとりまとめる。
- その他、人材育成等の課題についてもそのあり方等を取りまとめる。

3. とりまとめの活用

本プロジェクトチーム会合のとりまとめは、総合科学技術会議として、平成16年度の資源配分の方針に反映し、政府としての技術開発予算の重点化に繋げる。

また、今後予定されている関連の我が国政府の計画策定に資する。



# 温暖化対策技術プロジェクトチーム調査・検討状況

平成 14 年 11 月 20 日現在

## 第 1 回 8月1日

我が国の地球温暖化対策について

- 「地球温暖化対策推進大綱」(以下「大綱」)の概要(環境省)
- 地球温暖化対策技術開発の概況(事務局)

## 第 2 回 9月27日及び第3回 10月7日

関係省庁の取り組み状況について

- 経済省、文科省、環境省、農水省及び国交省の技術開発の取り組み状況(大綱の整理に沿って個別技術開発の内容等)
- 自主行動計画等産業界の取り組み状況(技術開発関連事項を中心に日本経団連から聴取)

## 第 4 回 12月11日(予定)

二酸化炭素の回収・隔離・貯留技術について

- 地球環境産業技術研究所(RITE)及び三菱重工業から聴取

## 第 5 回 1月(予定)

地球温暖化対策技術の開発を推進する上での課題について  
(有識者等から聴取)

## 第 6 回及び第 7 回 取りまとめ(案)審議

以上

## 温暖化対策技術プロジェクトチーム名簿

	石井 紫郎	総合科学技術会議議員
	吉川 弘之	総合科学技術会議議員
	吉野 浩行	総合科学技術会議議員
(座長)	茅 陽一	慶應義塾大学客員教授
	岩科 季治	東京電力(株)取締役技術開発本部副本部長
	大下 孝裕	(株)荏原製作所取締役常務執行役員
	太田健一郎	横浜国立大学大学院教授
	岡崎 健	東京工業大学大学院教授
	岡本 一雄	トヨタ自動車(株)常務取締役
	柏木 孝夫	東京農工大学大学院教授
	岸 輝雄	物質材料研究機構理事長
	児玉 英世	(株)日立製作所日立研究所長
	堤 敦司	東京大学大学院工学系研究科助教授
	殿村 英幸	積水ハウス(株)取締役副社長
	中井 武	新潟大学大学院教授
	西尾 茂文	東京大学生産技術研究所長
	橋本 和仁	東京大学先端科学技術研究センター教授
	平尾 隆	新日本製鐵(株)常務取締役
	福川 伸次	(株)電通顧問
	正田 英介	東京理科大学工学部教授
	松村 幾敏	新日本石油(株)取締役開発部長
	山口 耕二	日本電気(株)エグゼクティブ・エグゼクティブ